

# 事前評価書

1 事業名 床上浸水対策特別緊急事業	路線名等 一級河川 伊賀川
2 事業概要 (1)位置 愛知県岡崎市 (2)規模・内容 河道改修L=2400m、橋梁工N=5基、小呂川合流樋管改築 (3)事業期間 平成21年度～平成25年度 (4)事業費 4,500百万円	
3 必要性 伊賀川は、流域面積約12.0km <sup>2</sup> 、延長約5.2kmの一級河川であり、流域はすべて岡崎市となっており、東名高速道より上流は山地が多く占め、東名高速道より下流に市街地が広がり、特に下流部は岡崎市の密集市街地となっている。 そのような中、平成12年の東海豪雨で床上浸水101戸、平成20年8月末豪雨においては、死者2名、堤外家屋の被災や床上浸水戸数393戸の被害を受けるなど、浸水被害が多発している。 このため、断面阻害となっている0k780三清橋から1k500中橋付近まで続く堤外家屋群の移転・撤去を行い、特に堤内地盤高が低く、浸水の程度のひどいエリアを概ね包括し、小呂川沿川の浸水被害軽減につながる3k180猿橋までの抜本改修を行い、沿川の床上浸水の解消を目指す。	
4 事業効果 (1)評価期間：事業着手から事業完了後50年間 (2)基準年度：平成20年度 (3)基準年における総費用(C)：53.6億円 (4)基準年における総便益(B)：216.1億円 (5)便益の内訳 一般資産、公共土木施設等 (6)費用対効果(B/C)：4.0	
5 事業をめぐる社会情勢 平成20年8月末豪雨により甚大な被害を受けており、地元の事業に対する期待度は高いものがあります。	
6 その他特記事項	